

学会参加報告書

2023 年度非破壊検査総合シンポジウム

慶應義塾大学大学院 理工学研究科
小茂鳥研究室 修士1年 青木 智史

私は、2023年6月7日~8日に日本非破壊検査協会 亀戸センターで開催された、2023年度非破壊検査総合シンポジウムに参加し、研究発表を行いました。本学会では、放射線だけでなく、超音波や磁粉、赤外線などの様々な要素技術を用いた非破壊検査に関して、研究発表が行われました。

今回、私は、「二次元検出器及び $\cos \alpha$ 法による X 線応力測定法Ⅲ」のセッションに参加し、「X 線応力その場測定による表面高周波焼入れ鋼の内部疲労損傷の評価」の題で発表を行いました。前の週にも学会での発表を行っていたこともあり、今回の発表では、その際の経験を活かして発表をすることができました。

発表後には、2名の方からご質問をいただくことができました。いずれの質問も、自分の研究を見つめ直すために重要な事柄であったため、非常に有意義な時間となりました。また、最新の残留応力の測定手法に関して、興味深い発表を聞くことができ、良い経験となりました。最後に、今回の発表の機会を与えて下さった小茂鳥先生、江面先生に御礼申し上げます。



学会の会場



発表終了後、江面先生と